

モニタリングポスト内測定機器の耐震化に伴う欠測について

令和6年9月12日
福島県環境放射線センター

1 経緯

本県では、東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所周辺の放射線を常時監視するため、環境放射能を連続測定するモニタリングポストを設置している。

今般、放射線の常時監視に係る設備機器について、耐震安全性のより確実な確保を図るため、「モニタリングに係る設備機器の耐震安全性に関するガイドライン」(平成28年7月、原子力規制庁監視情報課放射線環境対策室)に基づく耐震化(以下「作業」という。)を昨年度同様に実施する。

2 作業概要

(1) 対象地点

平成26年度に整備したモニタリングポストのうち4地点(図1、表1のとおり)

(2) 実施時期

令和6年10月～令和6年12月末(予定)

なお、各地点の工期は約1.5カ月を見込んでいる。

(3) 作業内容

床材の変更(セメント敷き)及び測定機器等のアンカーボルト固定

表1 対象となるモニタリングポスト4地点

No.	地点の名称	所在地
1	いわき市下桶売	いわき市川前町下桶売字久保田 122-3
2	いわき市川前	いわき市川前町川前荷付場 1-1
3	浪江町南津島	浪江町大字南津島字下冷田 137-1
4	南相馬市横川ダム	南相馬市原町区馬場字滝 76-1

3 欠測期間中の対応

本作業により空間放射線量率等が欠測となることから、代替測定として、可搬型モニタリングポストによる空間放射線量率の測定及びハイボリウムエアサンプラにより採取した大気浮遊じんの核種分析を実施する。なお、代替測定の結果は、令和6年度環境放射能等測定計画に基づく測定と区別するため参考値として記載することとする。

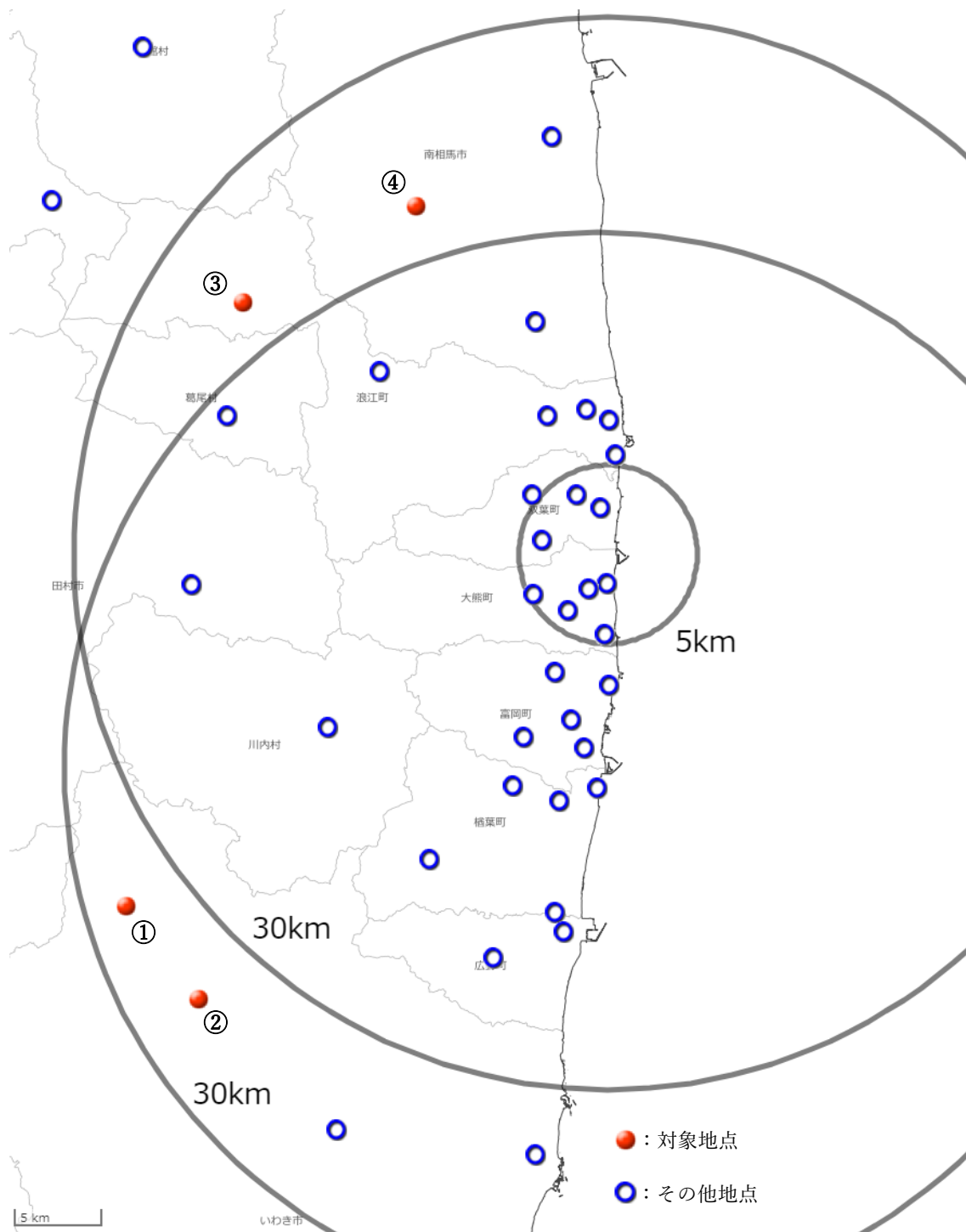


図1 モニタリングポスト測定地点